

種目名	国語	選定替えの有無	有・無	選定発行者名		従来の発行者名	光村図書
-----	----	---------	-----	--------	--	---------	------

発行者 観 点		東京書籍	教育出版	光村図書
1 学習指導要領との関連		・学習指導要領の趣旨を反映している。育成する資質・能力や各単元での学習過程が系統的かつ見やすく配列されており、学習者が見通しをもって主体的に学ぶことができる。	・学習指導要領の趣旨を反映している。育成する資質・能力や学習のポイントが教材ごとに明示されており、学習者による深い学びが実現できる。	・学習指導要領の趣旨を反映している。育成する資質・能力が明示されており、学習活動ごとの進め方や活動例が充実しているため、学習者が主体的に学ぶことができる。
2 「あいちの教育の基本理念」との関連		・協働的な学習活動が系統的に配置されており、様々な課題を解決して自分らしく生きていく力を育むことができる。 ・QRコンテンツが充実しており、ICTを活用して子供たちが自ら学ぶ態度を養うとともに、緊急時にも安心・安全に学ぶことができる。	・社会性を育てる教材、ふるさとを愛する心を育む教材、命や思いやりを大切にする気持ちを育てる教材等がバランスよく選定されている。あいちの教育の基本理念である「自らを高めること」と「社会の担い手となること」について、幅広く学ぶことができる。	・人としての在り方・生き方を考えさせられる優れた文章が数多く掲載されており、豊かな人間性を育むことができる。 ・社会の問題や日常の課題について考え、解決する活動が充実しており、協働する中で物事を多面的に捉える見方や考え方を身に付けることができる。
3 内 容	(1) 内容の選択	・国語科で身につけたい資質・能力の3つの柱である「知識及び技能」、「思考力・判断力・表現力等」を「言葉の力」として明確化し、段階的・系統的にバランスよく配列されている。 ・言葉がもつよさを認識し、実感できる言語活動を充実させるような内容が選択されており、学びに向かう力が高まるよう工夫されている。 ・デジタルノートの作り方、観察したことを書こう、案内の手紙を書こう、図書館へ行こうなど、他教科の学習でも活用できるような題材の選定がされている。	・生きてはたらく言葉の力を育むことができるよう、「知識及び技能」、「思考力・判断力・表現力等」がバランスよく学期の中に位置づけられるように配慮されている。 ・自分に焦点を当てたテーマが多く、自己理解につながる内容が選択されている。また、一人一人の児童が課題をもち、自ら学ぶ意欲を持たせるような教材や想像力豊かな心を育む教材が選択されている。 ・社会科の学習で活用できる意見文のまとめ方、生活科・理科の学習で活用できる記録文・報告書のまとめ方など、話題、題材、言語活動などが、多様な視点から他教科の学習で活用できるように配慮している。	・生きてはたらく「知識及び技能」の習得を目指し、すべての学習活動において、言葉に着目し、語彙を広げ、語感を磨くための工夫を設けている。また、各領域の学習活動の中で、互いの立場や考えを尊重しながら、言葉で伝え合う力を高め、「思考力・判断力・表現力」を養うことができるように配慮している。そして、それらを相互に関連させつつ、一体的に育成できるように、バランスよく配列されている。 ・一人一人が個性をいかして主体的に学習に取り組めるように、ユニバーサルデザインに注目し、多様性と個を認め合いながら、喜びや達成感を得られるような教材が選択されている。 ・観察記録文を書く、新聞を作る、グラフや表を引用して書くなど、他教科の学習でも活用できる

			ような話題と題材の選定がされている。
(2) 内容の程度	<ul style="list-style-type: none"> <li>各領域の単元を「見通す」「取り組む」「振り返る」の問題解決的な3ステップの学習過程で構成され、発達段階に応じた資質・能力を着実に身につけられるように工夫されている。</li> <li>デジタルコンテンツが豊富に用意されており、それらを活用し、書き出したり、整理したりすることで「個別最適な学び」や「協働的な学び」を促す工夫がされている。</li> <li>巻末付録には、各単元の補助や学習の振り返り、学んだことの活用や発展資料に関する教材が配置され、児童のさまざまなニーズに応えられるように配慮している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>単元扉の「学習のめあて」から「本文」、「学習のめあて」と「ふり返ろう」、「ここが大事」までが、重点事項に焦点化された一つのまとまった学びとしてつながっており、目指す資質・能力を着実に身につけられるように工夫されている。また、単元数は、系統の展開をおさえながら、学年の発達段階や時数に応じた無理のない構成となっている。</li> <li>デジタルコンテンツの「まなびリンク」は、ウェブサイトと連動して、充実した情報を取り出すことができ、児童の学びに向かう力を高めるような工夫がされている。</li> <li>巻末付録には、単元教材や小教材の学習を深めたり、個に応じた学習や家庭学習などで、言語活動を進めたりする際の支援となる資料（言語・語彙・情報・文学に関するもの）が配置されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>巻頭の「国語の学びを見わたそう」では、学びの流れが一目で分かるように明示されている。学習指導要領に示された言語活動例が、低・中・高学年それぞれの段階で着実に習得できるよう、育成をめざす資質・能力が明確になるように教材を配列している。</li> <li>学びを充実させるデジタルコンテンツが豊富に用意されており、子ども一人一人が問いをもつための動画や、前学年までに学んだ言葉を振り返ることができる資料などが収録されている。</li> <li>巻末付録「学習を広げよう」では、学年に応じて補充的な学習・発展的な学習が進められるように、読書教材やことばに関する資料、原稿用紙の使い方などが配置されている。</li> </ul>
(3) 内容の構成	<ul style="list-style-type: none"> <li>全単元に「学習の流れ」が提示され、学習目標や計画が立てやすく配慮されている。</li> <li>情報の扱い方については、「情報のとびら」を2年以上に年3か所、新設されている。4つの観点で系統立てて教材化している。</li> <li>我が国の言語文化に親しみ、その担い手として豊かに継承する態度を育成するために、言葉の由来や変化について学ぶための「伝えたい言の葉」という単元を、全学年に系統的に設定している。</li> <li>「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の系統・配列・分量は適切である。特に「読むこと」に重点を置いている。</li> <li>言語活動は、他教科等の学習や日常生活に即した題材が豊富に例示され、自らの生活と結び付け</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>全単元に「見通しをもとう」や「学習の進め方」が明示され、学習の目標や計画が立てやすく配慮されている。</li> <li>情報を取り出したり、情報と情報との関係を整理したりする言語活動が多く設定されている。また、付録『情報のまとめ』と連携し、情報の扱い方をまとめることができるように配慮している。</li> <li>各学年に古典作品にふれる系統の2つの教材と季節の風物や言葉遊びなどの言語文化に目を向ける2つの教材を系統的に配置している。</li> <li>「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の系統・配列・分量は適切である。特に「書くこと」に重点を置いている。</li> <li>言語活動は、他教科での学習内容も視野に入れ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「見通しをもとう」では、一読後の児童の考えを尋ねる「問いをもとう」から始まっており、児童が主体的に学習目標や計画を立てることができるよう工夫されている。</li> <li>情報の扱い方に特化した教材が、2年以上に設定されている。また、年間2か所に整理されており、各領域の学習活動と密接に関連させて配置されている。</li> <li>神話・伝承・民話・昔話・短歌・俳句・古文・漢文などの作品を多数取り上げ、これらに親しむ活動を取り入れている。</li> <li>「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の系統・配列・分量は適切である。特に「話すこと・聞くこと」に重点を置いている。</li> </ul>

	<p>て取り組める工夫がされている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・語彙指導では、文法と語彙それぞれに特化した「言語相談室」を設けており、児童自ら学習課題を見出せるように配慮している。</li> <li>・読書指導は、4, 7, 12月と年間3か所に特設単元を設定し、生涯にわたって読書に親しむ習慣や態度を育めるように配慮している。</li> </ul>	<p>ながら、学校内、地域など、社会に広がる活動も適切に配置されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・語彙指導では、各巻の「学習の手引き」の「言葉」「言葉を増やそう」、巻末の「言葉の木」において、児童の語彙拡充のために語句をまとめて示す配慮をしている。</li> <li>・読書指導では、読書意欲を高め、日常生活において読書活動を活発に行うことができるように、図書紹介を中心とした交流活動を行う読書交流教材を全学年に配置している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言語活動は、児童に分かりやすく、想像しやすい作品や挿絵が充実しており、語彙を豊かにし、もの見方を広げるように配慮されている。</li> <li>・語彙指導では、1年下巻以降の巻末折込に、考えや気持ちを伝える言葉をまとめた「言葉の宝箱」を設け、児童が主体的に活用できるように配慮している。</li> <li>・読書指導では、4, 7月と年間2か所に特設単元を設定し、図書館活用や、読書に関する知識・技能等の習得を目指す活動を配置している。</li> </ul>
4 表記・表現及び使用上の便宜等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習活動を示したページが見開き構成になっており、学習の全体像を捉えやすい。</li> <li>・ページの下に1行ごとのドットが示されており、行数が分かりやすい。</li> <li>・単元扉に大きな写真やイラスト、学習の見通し、学習のポイント等が書かれており、単元の導入時に活用しやすい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ページの下に1行ごとのドットが示されており、行数が分かりやすい。</li> <li>・学ぶ領域ごとに色分けが明確にされており、一目でどの領域の学習をするかが分かりやすい。</li> <li>・言葉について学ぶページが数多く配置されており、児童の言語能力や語彙力を単元ごとに育てやすい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習活動を示したページが見開き構成になっており、学習の全体像を捉えやすい。</li> <li>・巻頭に前学年の振り返りと現学年での学習の見通しをもつことができるページがあり、児童に長期的な学習の見通しと学ぶ意欲をもたせやすい。</li> <li>・絵や写真が効果的に用いられており、児童の考えや想像が広がりやすい。</li> </ul>
5 印刷・造本等	<p>1～4年生は上下巻の分冊になっている。</p> <p>印刷は鮮明で文字は読みやすい。</p> <p>製本は堅牢である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全学年上下巻の分冊になっている。</li> <li>・印刷は鮮明で文字は読みやすい。</li> <li>・製本は堅牢である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1～4年生は上下巻の分冊になっている。</li> <li>・印刷は鮮明で文字は読みやすい。</li> <li>・製本は堅牢である。</li> </ul>